

繰り入れ減額で国保税値上げ、介護保険も値上げ 厳しさ増す町民の暮らし その一方で、広域水道へは2億4665万円、役場庁舎整備事業費3107万円

町民の「安心・安全な生活」をとことん守る 心から実感できる小鹿野町を そのために何をすべきかが問われます

3月定例議会報告

3月定例議会が3月6日から16日の日程で開催されました。議会では一般質問、30年度予算、補正予算、条例改正、意見書、決議などが審議されました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに議論を行いました。



30年度予算案をめぐって

小鹿野町30年度予算案として、71億7200万円余の提案がありました。計上された殆どの予算は、町民にとって大切な内容です。特に子育て支援、産業育成、医療福祉、観光のための予算などは重用です。しかし、問題点もあります。

国民健康保険への繰り入れ減額で

国保税値上げ、来年以降も値上げか

国民健康保険への一般会計からの繰り入れを昨年度の1億2000万円から4500万円も減額した7500万円としたことです。その結果、国保税は、年額で世帯平均1万3005円、1人当たり平均7535円の値上げとなりました。出浦議員は昨年どおりの繰り入れを行えば引き下げができる、9500万円繰り入れれば値上げしないで済むと主張しました。国保税の値上げは町民の暮らしをいっそう厳しくします。

国保への繰り入れ減額の背景には国からの指導と、6年間かけて繰り入れを減額していくという町の方針があります。この方針によれば来年以降も値上げが繰り返されることとなります。今後も国保税の値上げをしないよう求める町民の声を大きくしていくことが大切です。

広域水道へは2億4665万円負担、

そのうち1億8280万円は出資債

町民の願いを無視して水道の広域化が行われてから2年。「広域化すれば工事費の3分の1は国庫補助金が来る、10年間の工事費333億円のうち111億円が国の補助金」などと宣伝してきましたが実は違っていた、実際の補助金は予定額の65%、80%程度というのが実情です。

そこで考え出したのが各自治体に借金をさせて、広域水道に拠出させるという方式、いわゆる出資債です。

昨年29年度分は、7240万円

を要求されましたが前福島町長はこれを拒否。30年度分として広域は1億8280万円を要求してきました。森町長は、12月議会からこの求めに応じると答弁していました。

この出資債問題が深刻なのは、かつて説明の中で「国庫補助金と同額の3分の1、更新工事をすればするほど増加し、計り知れない」と警告していたことも棚上げ、各自治体が出すのが当たり前の風潮ができていくことです。出資債の繰り出しは、その分町民のために使える予算が減額されるということです。

庁舎整備事業費に3107万円

方向性も未決定で 基本設計？

事業の方向性さえ決まっていないのに予算計上するなど問題です。

4議員、予算修正動議提出

山中、猪野、岩田、出浦の各議員は、広域水道出資債1億8280万円、庁舎整備事業費から3000万円を減額する修正動議を提出。熱心な論議が行われましたが、修正案は否決されておりませんでした。今後も町民の監視が必要です。

おがの民報 NO.32

日本共産党小鹿野町委員会

3月定例議会報告

2018年4月2日(月)

TEL 0494(79)0036

一般質問より

長若地内で発生した埋

め立て地土砂崩落災害

被災者支援、復旧を！

土砂崩落の概要

平成22年3月より般若天王原84番地他27筆等の土地、面積2万7323㎡に土砂42万2100㎡が埼玉県の許可で業者が埋め立て、その土砂が崩落した事件。

崩落が発生したのは昨年10月23日午前3時ころ、台風21号の雨で土砂200000〜250000㎡が崩落、長留川をせき止め、家屋、作業場、建設機械、材木、農地への土砂たい積5400㎡、墓地4カ所等へ甚大な被害が発生した。

崩落の原因、責任は

崩落の原因は埋め立て業者が、埼玉県の基準を超えて急角度になるまでたい積したことと埼玉県がそのたい積を見逃してきたことにあります。業者と県は被害

者への補償、復旧を一刻も早く行うべきです。

5か月経過、いっこうに

進まない被害補償

発生から5か月が経過するのにならぬ被災者への補償は一部のみで進んでいません。ある被災者は、1日も仕事がない町民が被害にあいながら補償さえない、こんなことが許されてはいけません。

町は上田知事に要請書提

出、直接面会等の尽力を

町はこれまで秩父環境管理事務所、秩父県土整備事務所と復旧、補償に向けて取り組んできましたが、なかなか進まない現状にあります。

そこで、出浦議員は町長が県知事に要請書提出や直接会って訴える必要性があると強調しました。

町長は、時間もかかっている、要請書の提出や直接面会する方法で県知事への対応をしていきたいと答弁しました。一刻も早い解決が強く求められます。

3月議会で審議した条例、意見書、決議など(議員発議、請願など)

発議

小鹿野町手話言語条例案

*提出者 高橋耕也議員
全議員一致可決

請願

国民健康保険の県単位化にあたっての請願

*賛成10名、反対1名
で採択

発議

原発の再稼働ではなく、国民の安全を優先するエネルギー政策への転換を求める意見書案

*提出者 齋藤 維議員
全議員一致可決

発議

小鹿野浄水場の存続を求める決議案

*提出者 山中豊彦議員
賛成7名、反対4名で
可決

発議

学校法人「森友学園」の国有地取引をめぐる決裁文書改ざんに抗議し、疑惑の徹底説明を求める意見書案

*提出者 出浦正夫議員
全議員一致可決

他に町長提案の条例数本

日本共産党 出浦正夫町議

議会報告会のお知らせ

日時： 4月4日(水)

午後7時00分～

会場：

小鹿野文化センター2階

議会の動き、町政の課題を報告します。長若土砂崩れ問題被災者支援・復旧、水道広域化問題、国保税値上げ問題などを語ります。

議会で議決した意見書、決議などの報告もします。

皆さんどうぞご参加ください。